

「だち」たどりながら、今この時の中で、息づく木々たちよ、聞こえますか？ 私の鼓動、聞こえますか？ 私の息づかい…と歌う。

祥子は一九九七年、キングレコードから「帰るかな大阪」でデビュー。大人が楽しめるアジアンテイストのポップスを目指し、ことし「祥子&Radish」を結成、精力的にライブ活動を行っている。メンバーは祥子（ボーカル）、マーク・イースト（ガットギター）、芳晴（胡弓）、もりともひろ（アコースティックギター）、古川はじめ（パーカッション）。（問）CROSS MUSIC 03・5411・2206。

「幾千年の時を越えて開かれた歴史の轍（わ）えていきたい」（祥子）という思いを込めて作られたこの曲は、東照宮を取り囲む杉木立をテーマにした美しい曲。

ことし二月に日光東照宮イメージソング「時を越えて」のCDを発売した「祥子&Radish」が十六、十七の両日、日光東照宮の五重塔前広場でコンサートを開く。世界遺産ライトアップ事業（日光市青年会議所主催）の一環。十六日午前十時半と午後三時からミニコンサート、十七日午後七時からは、ライトアップした五重塔の前で地元・日光の子供たちと「時を越えて」を歌う。「日光の自然と歴史の豊かき、大切さを広く伝

日光東照宮イメージソング発売 祥子 & Radish が16、17日 五重塔前でコンサート



祥子

日光彩る秋の大祭

勇壮な弓さばきに歓声

秋の行楽シーズンを迎えた日光市で、世界遺産に指定された二社一寺（日光東照宮、日光二荒山神社、日光山輪王寺）をライトアップする催しが始まった。東照宮の秋季例大祭に合わせた恒例のイベントで、十六日は大祭を盛り上げるため表参道で流鏝馬神事、東照宮のイメーજソング「時を越えて」をつくったグループ「祥子&Radish」によるミニコンサートも開かれた。大祭は十七日の「千人武者行列」などで幕を閉じる。

秋の夜を演出するライトアップは、日光青年会議所などの主催。今年で十回目となる。うっそうとした樹木におおわれた暗闇の中、ライトが五重塔や輪王寺の三仏堂などを照らすと、建物の鮮やかな朱色と金色がくっきりと浮かび上がった。光と影が織りなす幻想的な光景。訪れた人は肌寒い気候も忘れて、目を奪われていた。ライトアップは午後六時から九時まで。

きょう武者行列やコンサート

世界遺産をライトアップ

で。最終日の十七日はライトアップされた五重塔前で「祥子&Radish」と、日光の高校生らによる記念コンサートも開かれる。

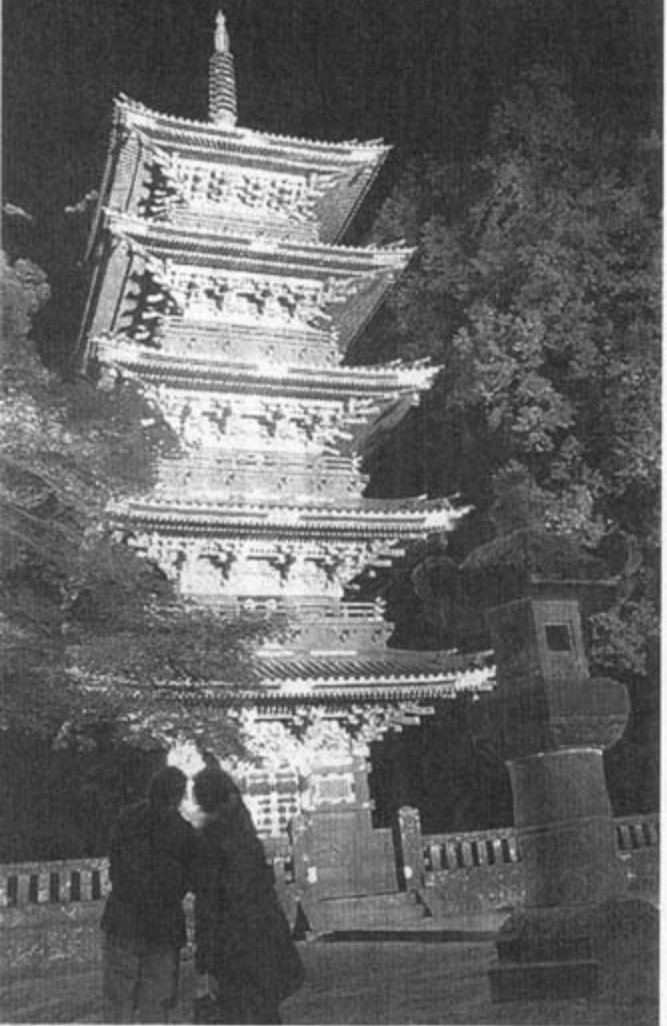
流鏝馬は、表参道に砂が敷き詰められ、約一万人の見物客の前で行われた。馬を操る射手の妙技

と弓のさばきが見どころ。和太鼓が演奏され、鎌倉時代の武士の衣装を身にまとった射手が、やや上り坂約二百二十段を馬で全力で駆け上がり、杉の木でつくられた三つの的を次々と射抜くと大きな歓声があがった。

流鏝馬は、鎌倉時代に盛んだったが一時、衰退していたのを江戸時代の八代將軍徳川吉宗が復興



勇壮な東照宮の流鏝馬神事



ライトアップされた日光東照宮の五重塔

時越え響け

「へ 幾百年の時を越えて 開かれた歴史のわたちたどりながら」。ポップスユニット「様子&Radish」が十七日、日光市の日光東照宮でコンサートを開き、同社のイメージソング「時を越えて」を披露する。コンサートには県立日光高校の生徒も参加し、のびやかなメロディーにのせて日光の自然への思いを歌い上げる。

「様子&Radish」制作

東照宮イメージソング

17日に五重塔前で披露



「時を越えて」は、同ユニットが昨年九月に東照宮でライブを行った際、日光の杉木立の雄大さに感銘を受けてRadishのメンバーの一人、マーク・イーストさんが作詞作曲。歌詞は、数百年の日光の歴史を見守ってきた木々への思いを寄せ、未来を託す内容となっている。

日光東照宮のイメージソング「時を越えて」は、観光客らの心をとらえるか？

.....

てきた日光の自然と文化の素晴らしさを改めて感じてほしい」と日光への思いを語る。

コンサートは十七日午後七時から日光東照宮の五重塔前広場で開かれる。

またこれに先立って、十六日午前十時半と午後三時から同所で、同ユニットのミニコンサートも行われる。

同曲を収録したCD「北星ノ時を越えて」はユニバーサルミュージックから発売中。コンサートの問い合わせはCROSS MUSI C 03・5411・2206、秋季大祭の問い合わせは日光東照宮 0288・540560。